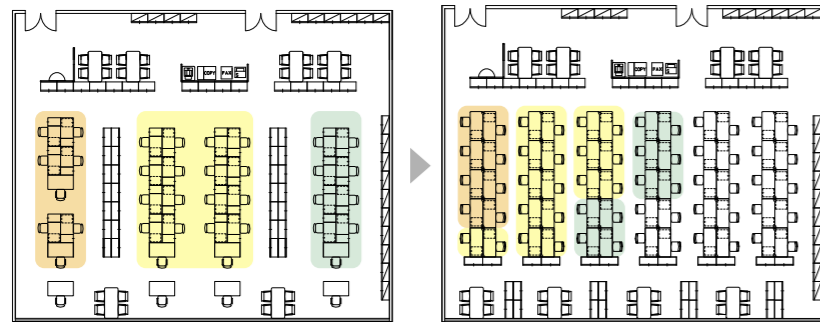


平面計画

(1) 執務室

- ・執務室は、執務室のデスクを規則的に配置し、課と課の間に障壁等を設けず、執務室全体を見渡せるユニバーサルレイアウトを採用します。
- ・ユニバーサルレイアウトにより、スペースの有効活用、人事異動や将来的な組織改正に容易に対応することができるほか、課単位での職員間のコミュニケーションの向上が期待できます。
- ・各フロアの執務室のバックヤードには集密書庫やミーティングスペース、作業スペース等を設置することで業務効率の向上に繋がります。



変化に対応できるユニバーサルレイアウトイメージ

(2) 市民利用スペース

- ・各フロアに多目的トイレを設置する計画とします。
- ・子育て世代が多く訪れることが想定される庁舎の1階、3階にはキッズスペースを配置する計画とします。
- ・庁舎と（仮称）新福祉社会館の1階から3階にそれぞれ授乳室を設置する計画とします。



多目的トイレイメージ



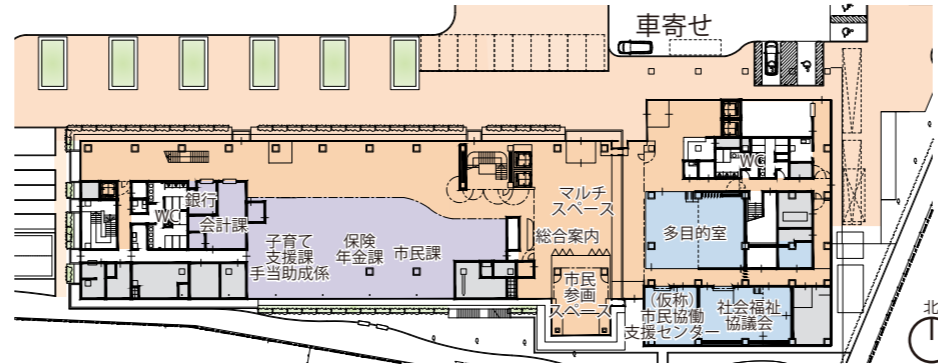
授乳室イメージ



キッズスペースイメージ

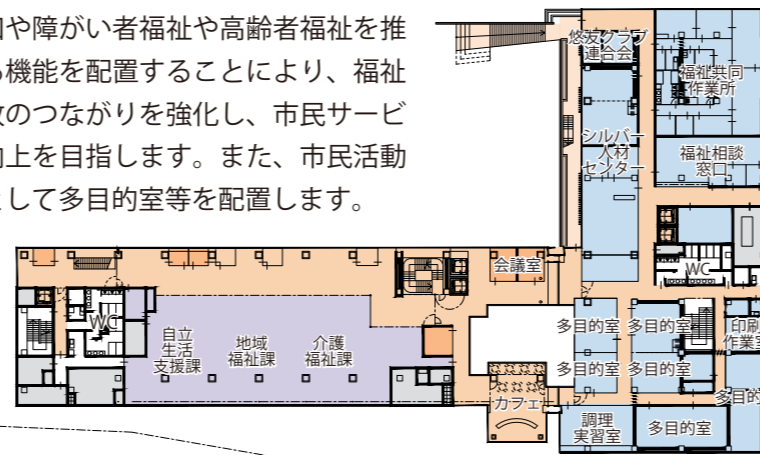
1階

庁舎は市民の利用が多い市民部、子ども家庭部を配置するほか、会計課、指定金融機関窓口等を配置します。また、（仮称）新福祉社会館に社会福祉協議会を配置し、行政と連携します。
エントランスホール付近にはマルチスペースや市民参画スペースを配置し、（仮称）新福祉社会館の（仮称）市民協働支援センターや多目的室と近接することで、交流の場が生まれ、様々なイベントや市民活動が可能となります。
また、庁舎の待合スペースは閉庁時にも市民利用ができるような計画とします。



2階

庁舎は福祉保健部を配置します。
（仮称）新福祉社会館は、福祉の総合的な相談窓口や障がい者福祉や高齢者福祉を推進する機能を配置することにより、福祉と行政のつながりを強化し、市民サービスの向上を目指します。また、市民活動の場として多目的室等を配置します。



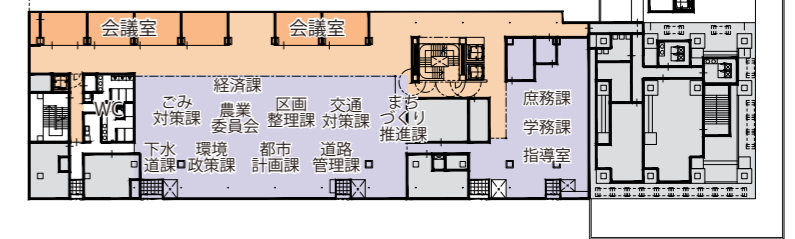
3階

庁舎は税部門と子ども家庭部を配置します。また、コミュニティ文化課、経済課消費生活係、生涯学習課等業務関連性を考慮した配置としています。
（仮称）新福祉社会館は、保健福祉と子育て・子育て支援関連の機能を配置したフロア構成とします。



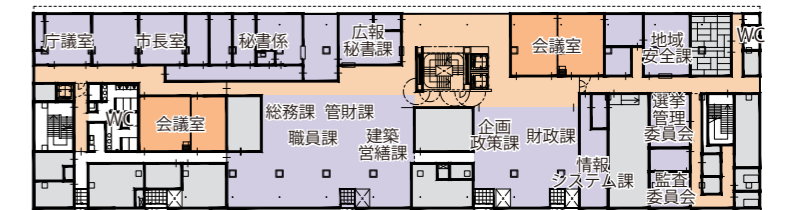
4階

環境部、都市整備部の他、業務関連性等を考慮し経済課産業振興係・農業委員会を配置します。東側は学校教育部を配置します。また、（仮称）新福祉社会館の屋上は、屋上庭園とし、庁舎からのアクセスを確保します。



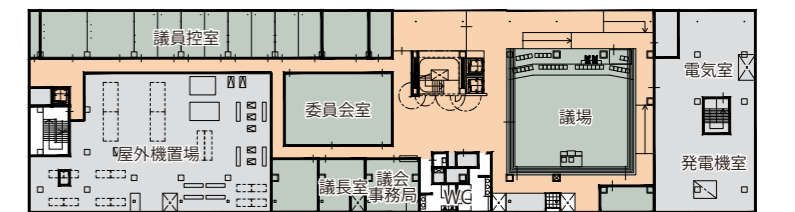
5階

庁議室、市長室等理事者諸室、企画財政部、総務部等を配置します。
災害対策本部が設置される庁議室や災害時に有効に機能する大規模な会議室を複数配置するほか、地域安全課執務室周辺には災害情報室、会議室を配置する等、「防災の拠点」として機能するよう計画します。



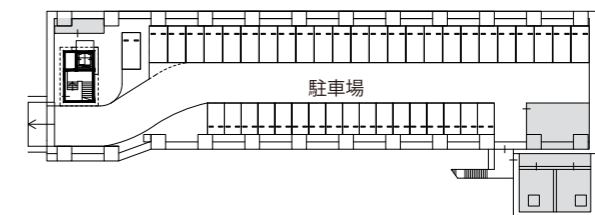
6階

議場を中心に委員会室、議員控室、議会事務局等議会関係諸室をまとめて配置します。（6階の平面図は、現在、新庁舎建設における議会施設の在り方検討会において詳細を検討しており、変更となることがあります。）



地下1階

公用車駐車場及び、倉庫、機械室を計画します。



■ 執務室	■ 議会エリア
■ 廊下、共用部	■ (仮称) 新福祉社会館
■ 会議、相談室	■ 書庫・倉庫・機械室他

- 凡例 -